

# みつけた!

福岡県保育協会通信



Discovery.

By mutual confidence and mutual aid,  
Great deeds are done, and great discoveries made;  
相互信頼と相互扶助にて、偉大なる行為はなされ、偉大なる発見がなさる。  
—ギリシアの詩人 ホメロス

福岡地方保育事業研究大会 報告	2
筑後地方保育事業研究大会 報告	3
公立発信 粕屋町立西保育園 園長 吉武順子	4
全国保育士大会 報告	5
コラム 福岡県立大学 福田恭介	6
コラム 生の松原子どもスコール 山下麻里	7
福岡県保育士就職支援センター・編集後記	8



# 保育事業 研究大会

福岡

筑後

## 今こそ保育の原点を考えよう!

去る8月17日に第61回福岡地方保育事業研修大会が開催されました。会場の糸島市伊都文化会館には、あの酷暑の中にも関わらず、宗像地区、古賀・粕屋地区、筑紫地区、糸島地区より多くの皆様に参加いただきました。今年度のテーマはシンプルに『ぬくもり』。日々の業務に追われ、自分の気持ちや身体の声に耳を傾けることが難しい保育者の皆様に、少しでも癒しの時間になってほしいと思い企画をいたしました。保育の制度が大きく変革する中で、現場の保育者にとって、「処遇改善」という耳触りの良い言葉も聞こえてはくるものの、不安を感じることもあると思います。また、目の前の子ども達をみても、子育て環境の悪化は改善の兆しも見えず、子どもが巻き込まれる事故も後を絶ちません。保護者にとっても、ようやく減ったとはいえ、年間の自殺者数が3万人近くいる中で、景気回復の声は聞こえども、実感は乏しいかもしれません。保育園に対する要望はますます大きくなり、保育者の負担感も高まっているように思います。そんな現実を嘆いても何か改善されるわけではありません。我々保育者は、毎日の保育をしっかりと積み重ね、より良い保育の為に日々研鑽し、子どもの成長を保護者と共に共感しあうことこそが、保育の質と呼ばれるものなのかもしれません。

大会は、地元の「二丈絆太鼓」による歓迎のアトラクションから始まり、地元の糸島市松本市長の挨拶に続き福岡県保育協会の万田会長や福岡地方保育協会の小方会長の挨拶及び多くの来賓の皆様のご祝辞を頂くことが出来ました。また、今大会では平成25年度の一般表彰として、43名の保育者が表彰されました。表彰者の表情はいずれも華々しく晴れやかなものでした。今までの功績とこれからのますます活躍されることを心よりお祈りいたします。

続いては、糸島市在住の子育てシンガーの『mon(もん)』さんによる記念公演。monさんは、いのちや人権をテーマにして、保育園だけではなく小中学校等でも幅広く講演されていますので、一度はお聞きしたことがあるかもしれません。自らの人生を振り返りながら、その優しく、温かく澄みきった歌声に、思わず涙する参加者も多くいたようです。「子ども、親の立場で気づくこと、日常にあふれる奇跡を歌を通していっしょに感じられれば幸せです。生まれてきてくれてありがとう」そう歌い語りかける言葉を聴くと、私たち保育者も忘れてはいけないものだと感じました。それぞれの立場で、一人ひとりの子ども達を見守り、毎日を無事に過ごせることを当たり前のことと思わず、感謝しながら保育をすることが保育の原点なのかもしれないですね。終了と同時に沸き起こった万雷の拍手こそ、普遍的なメッセージへの答えだと思えます。

会長として初めて臨んだ地方大会でした。準備も計画も不十分だったかもしれません。しかし無事に開催することが出来、関係者の皆様には紙面をお借りして改めてお礼申し上げます。

いώρα保育園 園長 本田幸太郎



## 第62回筑後地方保育事業研究大会を終えて

平成25年11月10日、筑後市のサザンクス筑後を会場にして、第62回筑後地方保育事業研究大会を「小さな生命が輝くために」～保育に関わる私たちの喜び～とのテーマを掲げ、県保育協会会長の万田康先生をはじめ、多くの来賓の方々のご出席も頂き開催致しました。主催は、公益社団法人福岡県保育協会・筑後地方保育協会、主管は、筑後中部地区保育協会、共催として、筑後市・大川市・大木町の2市1町にご協力を頂きました。記念講演は、福岡新水巻病院、周産期センター長の白川嘉継先生に演題「小さな生命が輝くために」として、ご講演を頂きました。

筑後地方217ヶ園の保育所(園)の関係者1600名の参加を頂き、大会式典において、勤続10年以上の会長表彰者60名の方々が表彰状を受領され、保育者として感激も新たに歩み出されました。今、国では子育て関連3法案の成立により新たな保育制度が構築されようとしています。保育現場を預かる私たちは、子どもたちと保護者に寄り添いながら、日々保育の充実を求め研鑽に努めています。しかし、子どもたちの置かれた環境は大変厳しいと言わざるを得ません。子どもたちの小さな生命が輝きを増すように、また保護者が子育ての楽しみを実感できるような支援が臨まれています。私達保育者は、子どもたち一人ひとりにどの様なサポートができるのか、その手がかりとして、日頃より色々な課題を持って研究してきた市町村が、3つのテーマを保育の充実と質の向上につなげるために研究発表を通じて問いかけました。1つは、エピソード研究への取り組みです。日常の保育の中での一場面を捉え、子どもの行動に対して保育者の見守りを通して、成長を探ると共に、自分の保育の見直しをして行く事例研究。2つめは、心を育てる食育を旨として、アンケートの実施等を行い家庭での食事の様

子を把握し、共食共感する機会の減少による、栄養面や食の文化や作法の軽視の傾向にある問題の啓発、保育園の立場で人との関わりや「食」の楽しさや喜びを共有することの大切さを、保護者とも共通理解を深める試みを継続して行く取組。3つめは、保育園での子どもに対して絵本の読み聞かせや保育展開の実践による子どもたちに見られる変化は、「絵本」に対する、保育者の学びの程度に依るものが大きいこと、また、保護者・家庭との連携がより大切であり「子どもの豊かな心を育む」ためには、保育者自身の学び続ける姿勢も大事であること、などです。

白川先生のご講演は、医療の現場より母親が新生児にとってどれ程に大切な存在であるか、脳が母親になっていくメカニズムや、人生の基盤は3歳までに決まるなど人間の発達から人体のしくみなど丁寧にまた力強くお話を頂き、保護者と子どもたちの支援の大切さを考えさせられました。聴き手側も身近な問題でもあり、非常に熱心に聞き入っていたのが印象的でした。また、会場内のイベントホールでは、【ほいくの部屋】として筑後市の「音」をテーマとした手作り楽器やオモチャの紹介、大木町は「絵本」、大川市の「食育」と、それぞれの研究発表の展示ブースを設け、休憩時間などに多くの見学者も来場し楽しいひと時も過ごせて大いに賑わいました。

今回の研修会は、福岡県保育協会が公益社団化されて、筑後中部地区保育協会として筑後市・大川市・大木町保育協会が初めて共に協力して立ち上げた研修会でした。中部地区25ヶ園のこれからの歩みが更なる充実したものになることを願うばかりです。ここにご協力頂いた皆様に感謝致します。

松原保育園 園長 中嶋頭真



## 目には見えない大切なもの

粕屋町立西保育園 園長 吉武順子



～地域でつなぐ～

平成 16 年粕屋町公立保育園保育士で「子どもの健康的な成長を支援したい」「親子で楽しく触れ合える場を作りたい」という思いから、ステージと手作りコーナーの小さなフェスティバルを開催しました。その後も保育士が企画し恒例行事となり、平成 20 年には「子どもをいつくしみ育む輪を広げよう」「町民一人ひとりが子どもについて考える日にしよう」という目的で、このフェスティバルの日が粕屋町の「かすや子どもの日」と制定されました。「かすや子どもの日」しよいフェスタ」として今年で6年目を迎えます。“子どもの笑顔はかすやの未来、大人も子どもも元気になるう”をスローガンに参加者も約 1500 名と年々増え続けています。現在では、行政・ボランティア・子育て応援団(6 チーム)・地域で子育てにかかわっている有志の方々(町内 20 園の幼保を含む)と繋がりが、手作りのお祭りを行っています。式典・ボランティアさんの表彰・プレーパーク・ランチコーナー・手作りコーナー・ゲーム・ステージ・バザールなど、スタッフはみなさん普段のお仕事もある方たちばかりです。それでも毎回意欲的に参加されるのは、地域のつながりの中に、思いやり・笑顔・喜び・楽しさ・共感・感謝など目には見えない大切なものを感じるからなのだと思います。

粕屋は子どもの出生率が高い町です。これからも多くの方が子どもに関心を持ち、喜びを持って関わっていけるよう公立保育園として行政や地域とつながりを持っていきたいと思っています。

～心を育てる～

平成 25 年 11 月 1 日、県吉塚合同庁舎にて公立保育所(園)職員研修会が開催され、中京大学教授の鯨岡峻

先生に「子どもの心の育ち」をテーマにご講演いただきました。なぜ今、心の育ちを重視するのか、従来の「保育の発達の考え」を見直しながらお話しをいただきました。保育士主導の保育ではなく子どもの心の面に目を向けることで、一人ひとりの行動は全て心の動きによって導かれている事が見えてくる。理論的で明確な鯨岡先生の言葉一つひとつが心に響いてきました。そして今一度、自分達の保育を振り返ってみて、子どもに力をつけること優先でその時の様々な思いやつぶやき・表情など、目には見えない心の動きをきちんととらえることができただろうか。子どもの笑顔や行動の背景にあるものを読み取るうとする姿勢はあったらどうか。気になる子に気を取られ、口数の少ないあの子はどんな思いでいたんだらうか・・・と深い思いで振り返り、改めて子どもたちを愛しく思う気持ちがこみ上げてきました。

私たち糟屋郡の保育士会研修も、鯨岡先生の「エピソード記述」に取り組んで3年目になります。まだまだ子どもの心の読み取りは不十分ですが、全職員で語り合うことが何よりも貴重に思います。様々な問題を抱える子が増えてきた今だからこそ、鯨岡先生の講話が心に落ち、乳幼児からの心の育ちを今一度見直す良い機会になりました。



## 第 47 回全国保育士研究大会 報告

筑後地方保育士会 大牟田市 久福木保育園 森永和代



## 子どもが豊かに育つ保育の実現 笑顔 × 未来 + 自然 = 生きる力

第 47 回全国保育士研究大会が 11 月 7、8 日の 2 日間、岩手県盛岡市において開催されました。「子どもが豊かに育つ保育の実現」～笑顔 × 未来 + 自然 = 生きる力～をテーマに、1300 名を超える全国からの参加者で会場は熱気溢れるものでした。

今回、福岡県保育士会(筑後地方保育士会)が研究発表を行いました。テーマは「専門性の向上を図る」～専門職としての責務～、研究内容は足指体操、運動能力アップ!～足の指から見えてくる子どもたちの健康とは～で、第 8 分科会での発表でした。

現在、乳幼児を取り巻く環境が急速に変化し、あそび場の喪失・集団であそぶ経験不足、その一方でテレビゲームの普及など、子ども達にとって体を動かしてあそぶ機会が減少し、それに伴っての運動能力の低下が問題となっています。

研究のきっかけは、こころ園児たちを見て「足に原因があるのではないか?」という、日常生活の中で一番身近で見ていた保育士の自然な気付きから始まったものでした。本研究発表では、運動能力と関連の深いと言われている足指に視点を当て、足指体操を取り入れたことで子ども達の運動能力向上ばかりでなく、保育士の振り返り・気づき・資質向上につなげていけたという成果が確認できました。

幼児の身体は柔軟性があると思っていたのが、驚いたことに大人だけではなく幼児においても、日常使わない機能は衰退・硬化していくこと、足指は身体運動の感覚器として重要な役割を担っていることを知りました。また今回、足指体操を続けることで、体を支える力を促すことに効果があることが結果として出ていました。

筑後地方保育士会の調査研究委員のメンバーや、調査園 3 園の職員の皆さんや園児達の 3 年間に渡る

調査・研究が現代の子どもの身体能力の課題に取り組んだ、質の高い研究であったこと、また、職員の資質向上に結び付いたことは、素晴らしい研究発表だったと助言者の岩手県立大学教授 咲間まり子先生の講評があり、これからの保育士会活動に力を頂いた思いでした。

午後からのグループ討議では、全国北から南の保育士同士が集まり、意見交換しながら自分の保育の振り返りや、気づき。また、人格形成期にある乳幼児の保育という大切な仕事に私たちは携わっている事をあらためて感じ取れる有意義な時間を持つことができました。

全国保育士会では、平成 25 年度事業の柱として、一人ひとりの子どもの状況や発達過程を考慮し、子どもの最善の利益を守り、保護者の子育てを支えるため、養護と教育を一体的に提供する「保育」について保護者や社会に「発信」することが掲げられています。今大会での研究発表において、保育士たちの積極的な研修会参加や、園内研修の取り組みが「専門性の向上」に繋がっていると思います。

これから、保育制度の変革期をむかえます。保護者の不安を取り除き、家庭との綿密な連携のもとで子どもたちの健やかな育ちを実現するために、私たち保育士一人ひとりが新たな制度を理解し、保護者に情報提供をしていけるよう頑張っていきたいと思っています。

この大会において、あらためて子どもの豊かな育ちを支える為、様々な活動に積極的に取り組んでいこうと増々決意をあらたにしております。

今後とも福岡県保育協会保育士会へのご理解とご支援の程よろしくお願い致します。



★1回目

あゆみ先生の  
気がかりなこと

あゆみ先生は、さとるくんを観察し始めました。しかし、実際にやってみると、朝、園に来てから帰るまで、気になる行動は続きます。これを毎日続けたら膨大な記録の山にうずもれてしまうと、あゆみ先生は気が滅入ってしまいました。そこで、さとるくんにできるようになってほしいこと、やめてほしいことを、それぞれ3つに整理してみました。

- できるようになってほしいこと、
- ①整理整頓ができるようになること
- ②椅子に座って活動すること
- ③生活のルールを守ること
- やめてほしいこと、
- ①急に部屋から飛び出すこと
- ②朝の会の時間にうろうろすること
- ③自由遊びの時間に、友だちを突き飛ばすこと

あゆみ先生にとっては、どれもこれも取り組みたいことです。しかし、6つ全部に取り組むことは無理なので、「①整理整頓ができるようになること」に取り組むことにしました。さとるくんは、お弁当の後、何度言ってもお弁当箱を片付けることができません。

お昼のお弁当の片づけ方を記録してみました。

2月6日 12:05

さとるくん：ごちそうさまをした後、「トイレに行っていていいですか?」と言う

あゆみ先生：「お弁当を片付けてからね」

さとるくん：弁当箱と、水筒をロッカーに投げ入れる

あゆみ先生：「カバンの中に入れてよね」

さとるくん：弁当箱を入れるが、カバンのチャックは開けたまま

あゆみ先生：「チャックも閉めてね」

さとるくん：チャックを閉めた。

さとるくん：その後、トイレに行くのを忘れて遊び始める。

この記録からわかることは、さとるくんの1つ1つの行動に声をかけるとできますが、これでは、毎回声かけが必要です。

さとるくんに整理整頓を  
身につけさせるために  
あゆみ先生が  
取り組んだこと

2回目

3回目

さとるくんの乱暴な行動を  
やめさせるために  
あゆみ先生が  
取り組んだこと

あゆみ先生は、お弁当箱の片づけ方を実際に教えることにしました。ごちそうさまの後、さとるくんを呼び寄せ、お弁当箱のカバンへの入れ方、チャックの締め方、カバンのロッカーへの片づけ方を、あゆみ先生がモデルとなって教えました。

最初のころは、お弁当箱をロッカーへ投げ入れていたさとるくんでしたが、「カバンの中に入れて、チャックを閉めようね」という言葉かけで、片づけることができるようになっていきました。そして、さとるくんの方から「チャック閉めたよ」と言いに来て、「かたづけられるようになって、えらいねえ」とほめられるようになりました。

記録からもう1つわかったことがあります。さとるくんにとって「片づける」ということがどのようにするかが分かりにくかったということです。われわれ大人からすると、簡単な言葉ですが、4歳児にとっては、実際にやって見せないとわかりにくい言葉だったので。しかし、あゆみ先生がちょっとモデルとなってやり方を見せただけで、3週間後には、さとるくんは声かけなしで片づけられるようになったのです。

今回は、友だちを突き飛ばす、さとるくんへのあゆみ先生の関わりについて話していきます。

福田恭介（ふくだ・きょうすけ）

1953年生まれ 60歳

九州大学大学院博士課程心理学専攻修了

(1986年 文学博士)

2つの研究に従事、①「目（眼球運動、瞳孔運動、まばたき）は口ほどにものを言う」の本当か、②ペアレントトレーニングの考え方は保育園や学校の先生方にも役立つのか、を調べています。

現在、福岡県立大学人間社会学部人間形成学科教授。

さばこ  
cavaco の そねいけ

ワークショップ

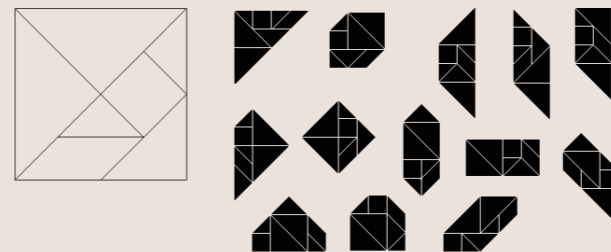
子どもたちの  
想像力に  
耳をすまそう

Vol.5

今回は、かたちの影を使って絵本をつくるワークショップをご紹介します。

「タングラム」という遊びをご存知でしょうか。ひとつの正方形をいくつかの図形（タングラムの種類によって、数は異なります）

に切り分けて、その組み合わせによって、いろいろな影絵を示していくというシルエットパズルです。このかたちの影を使った遊びは中国発祥で200年以上の歴史を持っているのではないかとされています。



上の図は最もよく使われているタングラムです。ひとつの正方形を7つの図形に分けたもの（左図）で、その図形が13の多角形（右図）に展開されている例です。13の図形は一見単純な形に見えますが、その区切れ目のない影だけで示されている場合、7つの小さな図形をどのように並べれば完成するのか、大人でもちょっと頭をひねらなければなりません。

このタングラムを利用して、ワークショップでは子どもたちと一緒に8ページないし12ページの絵本をつくっていきます。まず切り分けられた形を並べることで、何に見えてくるか・・・ある図形がチョウチョに見える子もいれば、リボンに見える子もいれば、砂時計に見える子もいます。それぞれの子どもによって、またその時の気分によって、図形は様々なも

のとしてイメージの中に立ちのぼってきます。このように、絵本づくりと言っても、先にお話を考える訳ではなく、形から連想するものからお話を膨らませていくという方法です。

絵本の台紙は、もちろん白い画用紙でもよいですが、様々な色の色画用紙を使用すると、さらに面白くなります。子どもたちがつくっていくシルエットが何色の上ののるかによって、シルエットがお星さまになったり、ウニになったり、お花になったりと、その情景を子どもたち自身が設定でき、さらに想像の幅が広がっていくのです。

色画用紙の上で、図形をひっくり返したり、組み合わせたりを納得いくまで繰り返して、イメージが膨らんだら糊でべたん！を続けていきます。その作業の間に、想像力がふくらんでいだけでなく、自然と幾何学的な感覚が身について行くのではないかと考えています。

さらに、子どもたちにとって、生き物を表現する上でも丸は重要な図形の一つとなってきますので、絵本づくりのワークショップの場合はタングラムに丸を追加するのもよいでしょう。

山下麻里（やました・まり）

グラフィックデザイナー。九州大学大学院芸術工学府デザインストラテジー専攻修了。2007年より九州大学大学院特任教授目黒実氏が主催する「子どもプロジェクト」に企画・デザイン等で参加する。在学中、ユニバーサルデザイン教育を通じた社会貢献活動プログラム[こどもたちのUD移動ミュージアム]にデザインで参加、同プロジェクトはグッドデザイン賞、キッズデザイン賞を受賞した。2012年、福岡市西区に「生の松原子どもスコール」をオープン。



# 公益法人と地区会長

## ～地区会長のご苦勞に感謝～

536、533、342、356。これは何の数字だと思いますか。クイズではありませんが難しいですね。しかし、これに、所（園）を付けるとわかる方も多いでしょう。そう、順に、県保協、全保協、日保協、私保連加入の会員数です。

事務局には、毎日のように中央の3団体から、夥しい量の情報が、紙、電話、FAX、メールなど、様々な媒体を通じて入ってきます。特にここ数年は、万田会長が全保協会長、上村副会長が全国保育士会の会長を務めておられますので、なおさらのことです。

これらに県保協独自分を加えた情報を整理し、会員保育所（園）に提供するもの、そうでないものに仕分けし、地区会長を通じて会員の皆様にお届けしています。情報の内容は、研修、大会、会議、表彰、署名、寄附等、多岐にわたり、これらの情報の殆どを地区会長にお願いし、地区会長が事務局の意向に沿って仕分け整理し、集約等をしていただくことで、公益法人としての協会活動が成り立っているのです。

いわば、地区会長は、協会（事務局）と会員の皆様を繋ぐ情報の中継基地であり、また、発信基地であります。保育協会が公益法人として成り立つためには、会員の皆様が県下で子育てや子育て支援等の保育活動や各種事業を実施し、その成果が県民の方々に公益として幅広く還元されなければなりません。

この公益の中心的な担い手が地区会長であり、その責任と役割は大きなものがあります。私ども事務局もそのことを常に意識し、地区会長との連絡、相談、報告等を円滑に進め、会員の皆様に貢献できる事務局でありたいと思っています。地区会長の頑張りに感謝し、今後も情報中継発信基地として益々ご活躍いただきますことをお願いするものです。

### 【編集後記】

早いもので本年も残すところあとわずかとなりました。保育会では、平成27年度より実施される子ども・子育て新システムの実施に向け今年度以降各市町村において地域版子ども・子育て会議を開催し、地域の実情に応じた今後5年間の子育てについての計画を策定する事になっております。都市部と地方の保育格差が発生しないよう十分に議論することが必要と思われまふ。広報部と致しましても今後の推移を皆さまに十分に情報発信出来るよう努力してまいりたいと考えております。

広報部

発行日 平成25年12月25日  
発行者 万田 康  
編集者 半田 義文  
発行元 公益社団法人 福岡県保育協会  
発行所 春日市原町3丁目1-7  
TEL 092-582-7955  
FAX 092-582-7956

## 保育園および園児をさまざまなリスクからサポートします

保育園経営には、さまざまなリスクが伴います。(公社)全国私立保育園連盟指定代理店である(有)ゼンポでは、保育園経営はもちろんのこと、園児をとりまくリスクに関する各種保険を取り扱っております。

### 全私保連保険制度

「保育園賠償責任保険」「保育園児団体傷害保険」「特別保育事業賠償責任保険」など、保育園経営に必要な不可欠な保険をラインナップしています。

また、それらを総合的に補償するセットプランもご用意しております。

上記以外にも、「学童保育」などの、保険を取り扱っております。ご照会は、下記連絡先どうぞ。

(公社)全国私立保育園連盟指定  
東京海上日動火災保険株式会社  
三井住友海上火災保険株式会社代理店

有限会社ゼンポ  
〒111-0051 東京都台東区蔵前4-11-10 全国保育会館内  
TEL 03-3865-3881 FAX 03-3865-2806

### 園児総合保障共済制度

保育園児を24時間補償する共済制度です。保育者にとっては一般に比べて割安な掛金で補償を確保することができます。

(引受保険会社)  
(幹事保険会社) 東京海上日動火災保険株式会社  
担当課：公務第二部 公務第一課  
TEL：03-3515-4133  
(共同引受保険会社) 三井住友海上火災保険株式会社

このご案内は全私保連保険制度・園児総合保障共済制度の概要についてご紹介したものです。保険の内容は本保険制度のパンフレットをご覧ください。詳細は契約者である社団法人全国私立保育園連盟にお渡しする保険約款によりますが、ご不明点がありましたら、取扱代理店または保険会社までお問い合わせください。また、ご加入にあたっては、必ず「重要事項説明書」をよくお読みください。

